

Release Notes

for **iris**SDK Snapshot Planters

2003/12/12

任天堂情報開発本部 環境制作グループ

Version: irisSDKbulb-snapshot-031212

Date: 2003, Dec. 12

本パッケージについて

本パッケージは現在環境制作グループで開発中の IRIS のソフトウェア開発環境（irisSDK: 別称 irisBulb）の現状のソースツリーをそのままパッケージ化したもの（スナップショット）です。ライブラリのビルドが出来る状態になっておりますので、最新のライブラリが必要な方はこのパッケージをお使いください。

また、開発中であるがゆえに十分にテストされているものではないことをご理解くださるようお願いいたします。

Snapshot パッケージに含まれるもの

- 環境制作グループ作成版 iris ライブラリ（グラフィクス・スレッドシステム etc）
- オンライン関数リファレンスマニュアル
- IRIS 機能テストコード
- 開発ターゲットの切り替えを統合した make システム

2003/12/03→2003/12/12 の主な更新

- スレッド切り替えの system call 対応
- OS_Printf が IS-IRIS-EMULATOR のデバッグプリントに対応しました。ランタイムで IS-IRIS-EMULATOR 上で実行しているかソフトウェアエミュレータ上で実行しているかを判定し出力を切り換えます。make 環境では IS-IRIS-EMULATOR をインストールしたときに設定される環境変数 IS_IRIS_DIR が定義されていればデバッグプリントライブラリを組み込みます。
- Makefile 内の SRCS 変数でのファイル指定において dir/src.c というディレクトリを含んだファイル指定が出来るようになった。（ただし、ファイル名が衝突する場合[例 src.c と xxx/src.c をリンクする]を除く）
- SpinLock 系関数の一部をサポートしました。

今後の予定

- 開発技術部版ライブラリとの調整・統合
- 前回のリリースの反応を元に関数命名をブラッシュアップする
- ARM7 側のアプリケーションの作成環境および通信プロトコルの決定
- ROM ファイルシステムおよびツール
- Demo の用意
- ライブラリテストの自動化

